

HIV & AIDSに関する状況 (メトロポリタンマニラ、 フィリピン)

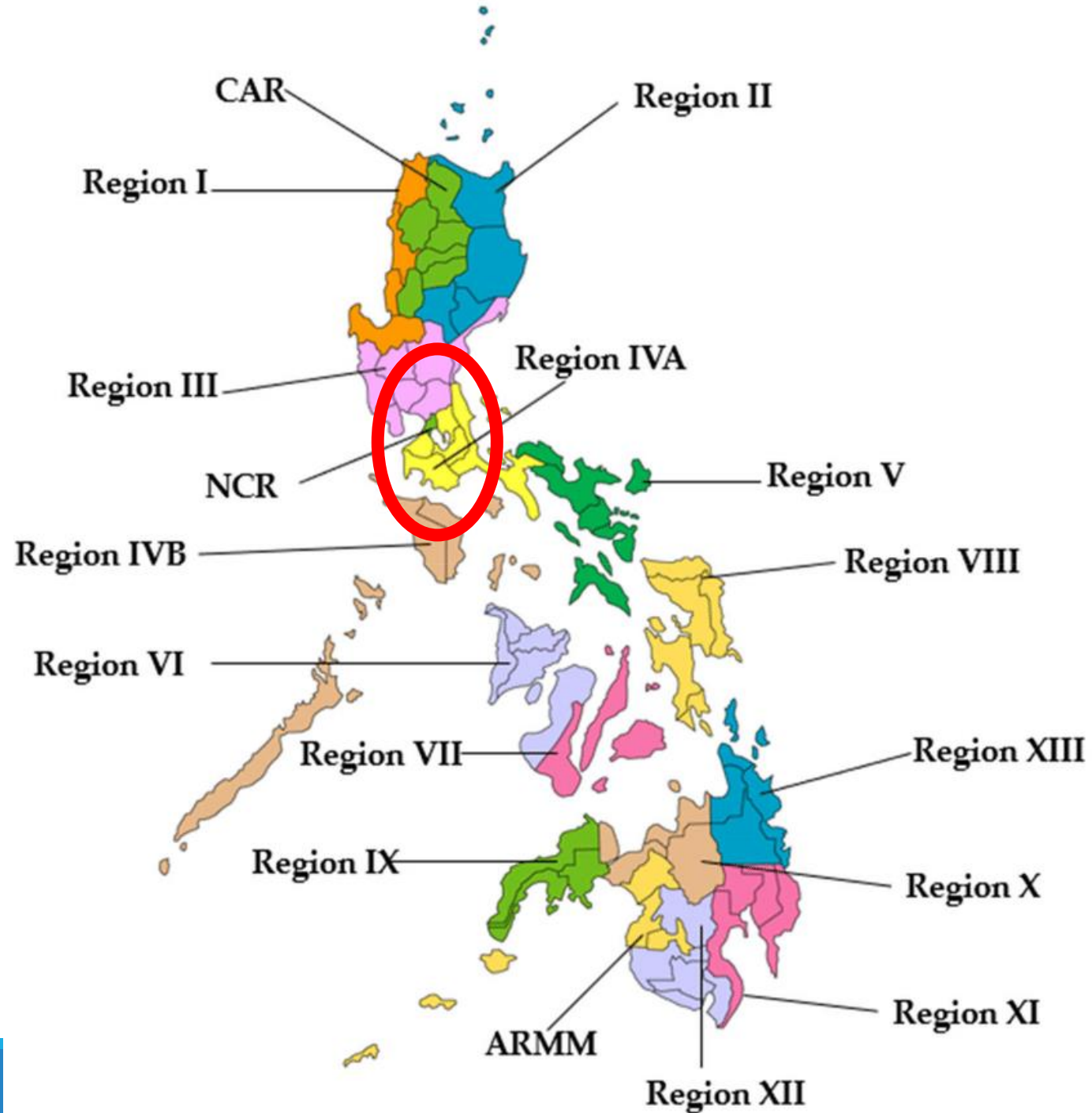


アンナベル・R・オンビナ 医学博士
環境管理主任スペシャリスト 兼 医療クリニック責任者
メトロマニラ開発庁 (MMDA)

フィリピンの概要



- 7,607の島々からなる群島
- 東はフィリピン海、南はセレベス海、南西はスールー海、西および北は南シナ海に囲まれている
- フィリピンの気候は熱帯性で、強いモンスーンの影響を受ける
- 総人口は1億1900万人



フィリピンにおけるHIVの状況



成人および子供のHIV感染者数

- 2023年時点：19万人
- 2024年末までに予測される感染者数：21万5,400人

HIV感染者の割合

- - 男性：95% 女性：5%
- 28%の感染者が進行したHIV感染状態で診断
- 日平均50件の新規HIV感染者が記録されている

AIDSによる死亡者数は年間2,000～2,700人

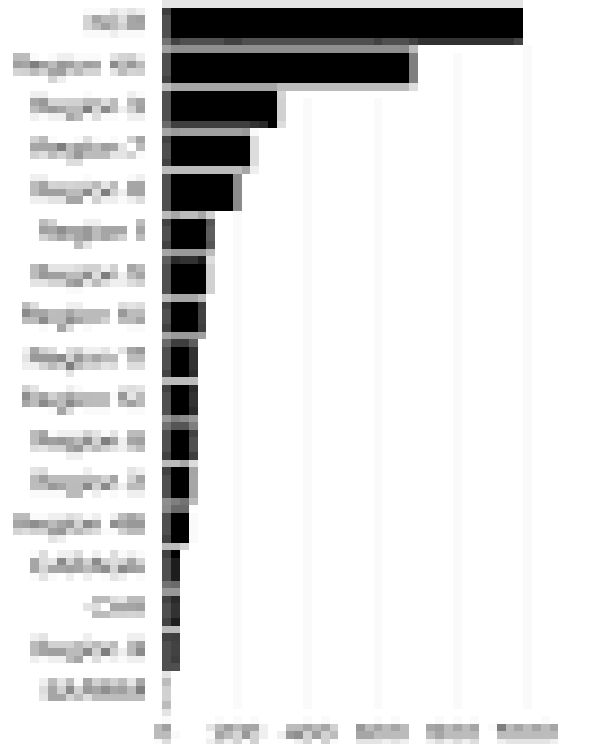
フィリピンにおけるHIVの状況

年齢別:

- 診断時に15歳未満だった症例: 24件
- 15～24歳の感染者数: 1,472件
- 25～34歳の感染者数: 2,179件
- 残りは35歳以上

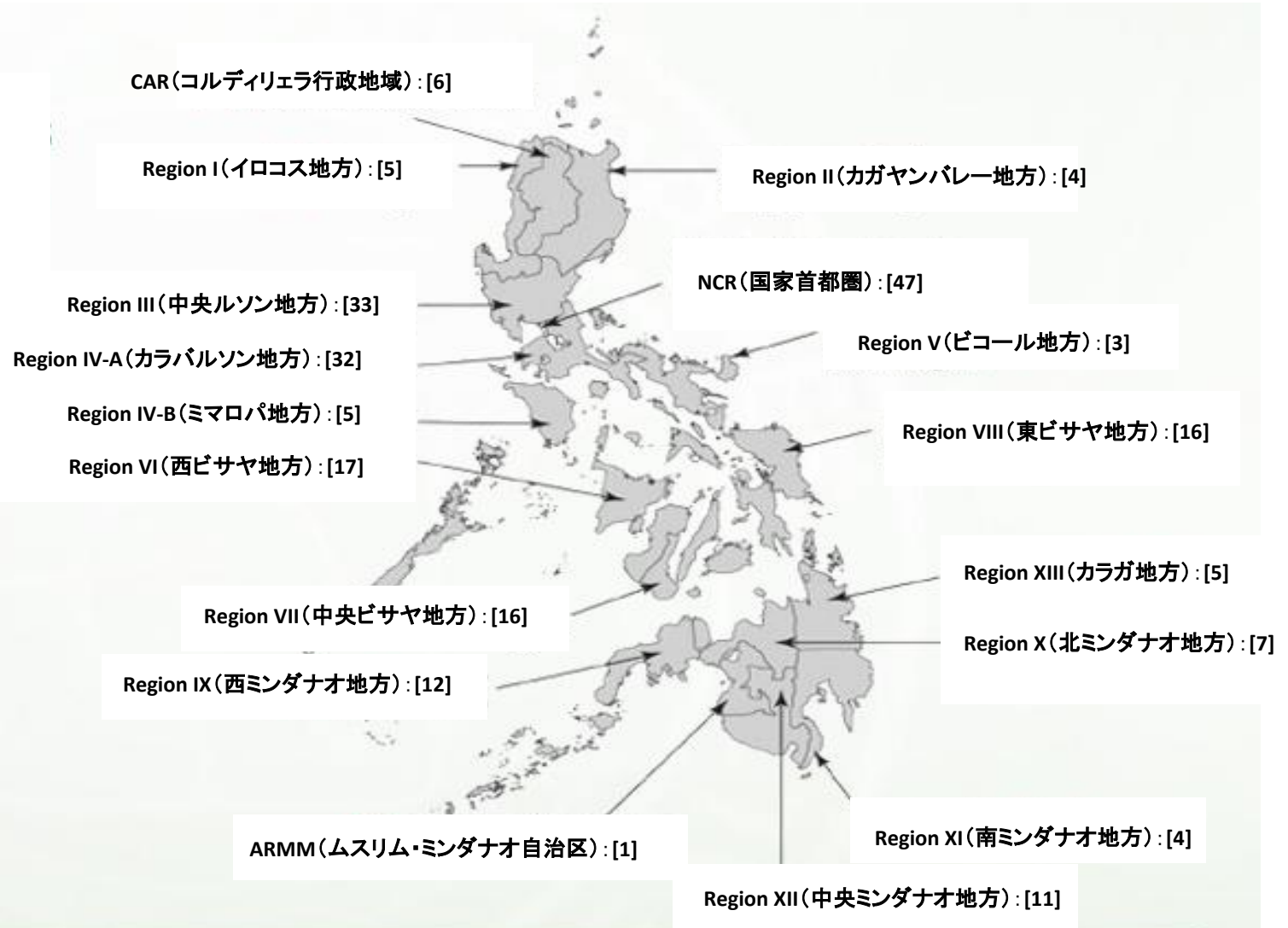
フィリピン・メトロマニラにおけるHIVの状況

GEOGRAPHIC DISTRIBUTION



- 1984年1月～2024年6月までの累計症例数：44,633件（全体の33%）
- 2024年1月～6月のメトロマニラにおける報告症例数：2,177件（全体の24%）
- 2024年第4四半期に新たに診断されたHIV症例のうち、25%がメトロマニラからの報告

フィリピンにおける主要なHIVケア施設 および治療拠点



メトロポリタン・マニラにおける主要な治療拠点

- サン・ラザロ病院 (San Lazaro Hospital)
- フィリピン総合病院 (Philippine General Hospital)
- サンタ・アナ病院 (Sta Ana Hospital)
- 熱帯医学研究所 (Research Institute and Tropical Medicine)
- メディカル・シティ (The Medical City)
- マカティ・メディカルセンター (Makati Medical Center)
- セント・ルークス・メディカルセンター (St. Lukes Medical Center)

- 地方自治体の医療施設 (少なくとも4か所)



優先的予防サービス

優先的予防サービス

一次予防

HIV総合予防策(コンドーム、潤滑剤、PrEP(曝露前予防)、ターゲットメッセージング)

指標: 累積PrEP登録数



二次予防

HIVスクリーニング、検査、診断

指標: 推定HIV陽性者の診断率

HIV治療の早期開始と継続ケア

指標: 診断されたHIV陽性者に対する治療適用率

HIV曝露児の予防策

指標: HIV曝露児への抗レトロウイルス(ARV)予防の実施率



三次予防

日和見感染症の診断および管理(予防または治療)

ウイルス量モニタリング

(耐性ウイルスの発生防止)

指標: 抗レトロウイルス治療(ART)を受けるHIV陽性者のウイルス抑制率



社会・行動変容コミュニケーション(SBCC)キャンペーンと介入による健康リテラシーの向上

パートナー



「Health is Life」キャンペーンは、健康促進フレームワーク戦略の7つの優先分野に焦点を当てます。これらは、健康促進の取り組みを通じて健康成果を向上させるための柱となるものです。



「KonsulTayo」キャンペーンは、フィリピンの人々が必要なケアを受け、将来的に健康リスクを回避できるよう奨励することを目的としています。このキャンペーンは、一般の人々がプライマリーケアの範囲と、そのサービスを提供する機関について理解することを主な目標としています。



優先分野6: 安全な性行為の
実践性と生殖の健康
ポジティブな性行動と生殖行動の
促進

地方自治体レベルの取り組み

- 高校でのオリエンテーション実施
- 保健センターでの情報共有（妊婦向けプログラム「Buntis Congress」や青少年向けプログラムと統合）
- LGU（地方自治体）健康カード発行のための事前検査（夜間労働者向け）
- IEC（情報・教育・コミュニケーション）資料や関連資材の制作・配布
- NGO（非政府組織）や青少年団体（Malayaなど）とのパートナーシップ
- 全国的な啓発活動への積極的な参加（5月3日、12月1日）



国家HIV/AIDSプログラムの目標



95%

HIV陽性者(PLHIV)
が自身の感染状況
を把握する



95%

診断されたHIV陽性
者が抗レトロウイル
ス療法(ART)を受け、
生存している



95%

治療を受けている
HIV陽性者がウイル
ス抑制に成功する



2030年までに
AIDS関連死を
ゼロにする



thank you

アナベル・R・オンビナ 医学博士
環境管理主任スペシャリスト 兼 医療クリニック責任者
arombina@yahoo.com